

2025年度 福島大学経済経営学類 環境経済学研究室（沼田大輔ゼミナール）
卒業論文報告会 の ご案内

福島大学経済経営学類 環境経済学研究室では、4年生 11名の卒業論文の報告会を下記の通り開催します。入退場は自由です。オンラインでもご参加頂けます。いずれも多くの皆様に様々にお世話になった卒業論文です。よろしければどうぞお越しください。

日時： 2026年3月17日（火） 12時～16時45分

場所： 福島大学 経済経営学類 大会議室

対面でご参加の方は、お越しの旨、下記連絡先にご一報の上、ご希望の時間帯に、お越しください。オンラインでご参加の方は、

https://zoom.us/meeting/register/k_G1cNmeQR6ls73t8tcfig (下記 QRコードに対応)に必要情報を入力頂き、送信頂きますと、オンラインに参加するための情報が送信されます。



プログラム（発表時間は質疑応答・入替を含む）：

12:00-12:10 進め方説明

12:10-12:30 稲月 萌 「資源回収ポイント制の利用要因分析
～会津若松市エコ活ポイントラリーの利用実態調査をもとに～」

12:30-12:50 小野 幸太郎 「ももりんシェアサイクルの利用を促進するには
～仮想評価法を用いた利用要因分析～」

12:50-13:10 小野寺 翔汰 「徳島県上勝町現地調査をもとに考える福島市のごみ減量
施策とは ～徳島県上勝町におけるゼロ・ウェイストの取り組みの
現状と課題～」

13:10-13:30 國分 逸生 「福島県湯川村で家庭系ごみ袋有料化を導入した場合の
ごみ袋単価の設定に関する考察」

13:30-13:50 休憩

- 13:50-14:10 小林 優月 「イベントにおけるリユースグラス利用の実態と考察
ー甲府市と福島市の事例をもとにー」
- 14:10-14:30 鈴木 七海 「映画館におけるリユース容器導入の運用・コスト分析
ーイオンシネマ福島の事例から見る経済性と現場負担の相関ー」
- 14:30-14:50 丹野 栞里 「情報提供は住民意識に影響を与えるか
～湯川村住民へのごみに関するアンケート調査をもとに～」
- 14:50-15:10 鶴見 彩夢 「地域型音楽フェスティバルにおける廃棄物削減の取組の
現状と課題 ～LIVE AZUMA を例として～」
- 15:10-15:30 休憩
- 15:30-15:50 牧野 未侑 「福島県環境アプリの導入効果について」
- 15:50-16:10 渡邊 祐太 「ごみ開封調査はリサイクル率に影響を与えるか
～5自治体へのアンケートとデータ分析をもとに～」
- 16:10-16:30 MUHAMMAD YUSUF BIN SAYUTI “Whether Halal Shop for residents
sustainable/manageable in Fukushima City using case of Haru Halal
Shop”
- 16:30-16:45 閉会

【連絡先・問い合わせ】 福島大学 経済経営学類 教授 沼田大輔
TEL: 024-548-8423、E-mail numata@econ.fukushima-u.ac.jp